

2024年10月3日
厚真町
公益財団法人イオン環境財団

10月5日（土）「厚真町さくら植樹」を実施 地域のみなさまの憩いの場となることを願い1,000本を植樹

北海道勇払郡厚真町（町長 宮坂尚市朗）と、公益財団法人イオン環境財団（理事長 岡田元也
イオン株式会社 取締役兼代表執行役会長 以下、当財団）は、10月5日（土）に「厚真町さくら植樹」
を実施します。

北海道南部に位置する厚真町は、町内の7割に森林が広がるみどり豊かな町です。肥沃な
土地には、さまざまな農作物が育ち、ハスカップの栽培面積は日本一を誇ります。
当財団は、厚真町において、2015年から3年をかけて、厚真川上流部周辺のレジャー施設
跡地に、水源涵養機能の回復や防災上の観点から約1,800名の地域ボランティアと共に
16,400本の植樹を実施しました。また、2021年より財団設立30周年記念事業とし
て「さくらの名所づくり」を行っており、厚真町では、2021年に、胆振東部地震で大きな
被害を受けた吉野地区に、かつてのさくらの名所の復活を願い、エゾヤマザクラ、ヤエザクラ
をあわせて30本植樹しました。2022年は、幌内地区において、厚幌ダム工事により出た
土砂盛土で整備された公園に、500本のエゾヤマザクラを植樹し、昨年も同地でエゾヤマザクラ
1,200本を植樹しました。

本年も同地にて、さらに1,000本のエゾヤマザクラを、150名の地域ボランティアの
皆さまと共に植樹いたします。植樹本数は、累計3,150本となり、「さくらの名所」として
町民の憩いの場として親しまれることを願っております。

当財団は、今後も、次代にひとつしかない地球を、みどり豊かな自然環境を引き継ぐため、
植樹をはじめとする環境活動に積極的に取り組んでまいります。

記

日時 2024年10月5日（土）
場所 北海道勇払郡厚真町字幌内135-1
本数 1,000本（エゾヤマザクラ）
参加者 150名
主催 厚真町・公益財団法人イオン環境財団
出席者 厚真町
イオン株式会社
イオン北海道株式会社
公益財団法人イオン環境財団

町長 宮坂 尚市朗 様
執行役副社長 渡邊 廣之
代表取締役社長 青柳 英樹
専務理事 山本 百合子

以上

ご参考

【公益財団法人イオン環境財団】

「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと、岡田卓也（イオン株式会社 名誉会長相談役）により、日本で初めて地球環境をテーマにした企業単独の財団法人として、1990年に設立されました。以来、多様なステークホルダーの皆さまとともに「植樹」「助成」「環境教育・共同研究」「顕彰」の4つの事業活動を中心に、活動に取り組んでおります。現在は、持続可能な地域の実現を目的に、新たな里山づくりにも取り組んでいます。

【植樹活動】

国内外の地域行政と協力し、自然災害や伐採などで荒廃した森の再生を目的に、アジアを中心に世界各地のボランティアの皆さまとともに植樹活動を継続実施してまいりました。当財団の植樹を含むイオン全体の植樹の累計本数は、1991年のスタートから数えて約1,268万本（2024年2月末時点）となります。

【北海道での植樹活動】

■2002年～2006年 知床

北海道斜里郡斜里町は1977年、乱開発の危機に晒されていた知床の開拓跡地を買い取り、植樹して緑を回復させることを目標に「しれとこ100平方メートル運動」を全国に呼びかけてきました。当財団はこの運動に賛同し、2002年から2006年までの5年間で、のべ1,610名のボランティアの皆さまと累計9,000本を植樹しました。

■2007年～2011年 支笏湖

北海道千歳市支笏湖では2004年の台風18号による樽前山麓の森林被害は、道内最大規模(当時)となりました。この地を命はぐくむ森に再生すべく、5年間でのべ5,203名の皆さまと累計39,600本を植樹しました。また2008年6月には、G8北海道洞爺湖サミットと並行して開催されたユースイベント「J8サミット」に参加する子どもたちと「イオンチアーズクラブ」のメンバーの合計約100名が植樹活動を実施しました。

■2012年～2014年 むかわ町

北海道勇払郡むかわ町では森林が約8割を占め、豊かな自然を利用した農林水産業が主な産業であり、森・川・海のつながりを活かしたまちづくりを目指しています。近年、山間部の森林荒廃が進んでいたことから、「魚つきの森を守ろう」というコンセプトのもと、森を守ることで川を守り、そして海を守るべく3年間でのべ1,735名のボランティアの皆さまと、累計16,000本を植樹しました。

■2019年～2021年 南富良野町

北海道空知郡南富良野町は、総面積の約9割が森林地帯の自然豊かな地域です。2016年の台風10号に伴う大雨による空知川の河川増水で、甚大な浸水被害が発生しました。当財団と町は、災害から地域を守るとともに緑あふれる森の再生を目指し、3年間でのべ650名のボランティアの皆さんと、累計7000本を植樹しました。



2021年厚真町さくら植樹



2023年厚真町さくら植樹